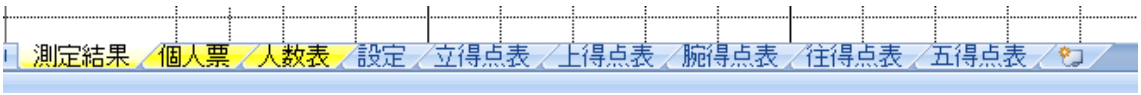
運動適性テスト集計プログラムの使い方

2015年2月18日
日本スポーツ少年団

1．ファイルを使ってみよう

①日本体育協会ホームページの体力測定（運動適性テスト）から、集計プログラム「tekisei_test.xls」をダウンロードします。excel ファイル内には複数のシートが存在しますが、ここでは「測定結果」「個人票」「人数表」のみ使用します。他のシートについては、入力しないようにしてください。



②「測定結果」のシートを選択すると、記録表と得点表が現れます。

③「記録表」に運動適性テストの結果を入力します。あらかじめ、例として複数名の氏名や測定結果が入力されていますが、№1 から順に団員の測定結果を入力してください。

No.	名 前	性別	年齢	身長	体重	立幅とび	
1	体 協　花 子	女	6	110	20		

④まず、「氏名（フルネーム）」（任意）、「性別（男または女）」（必須）、「年齢」（必須）の順に入力してください。また、年齢は運動適性テスト実施日時点での年齢を入力してください。

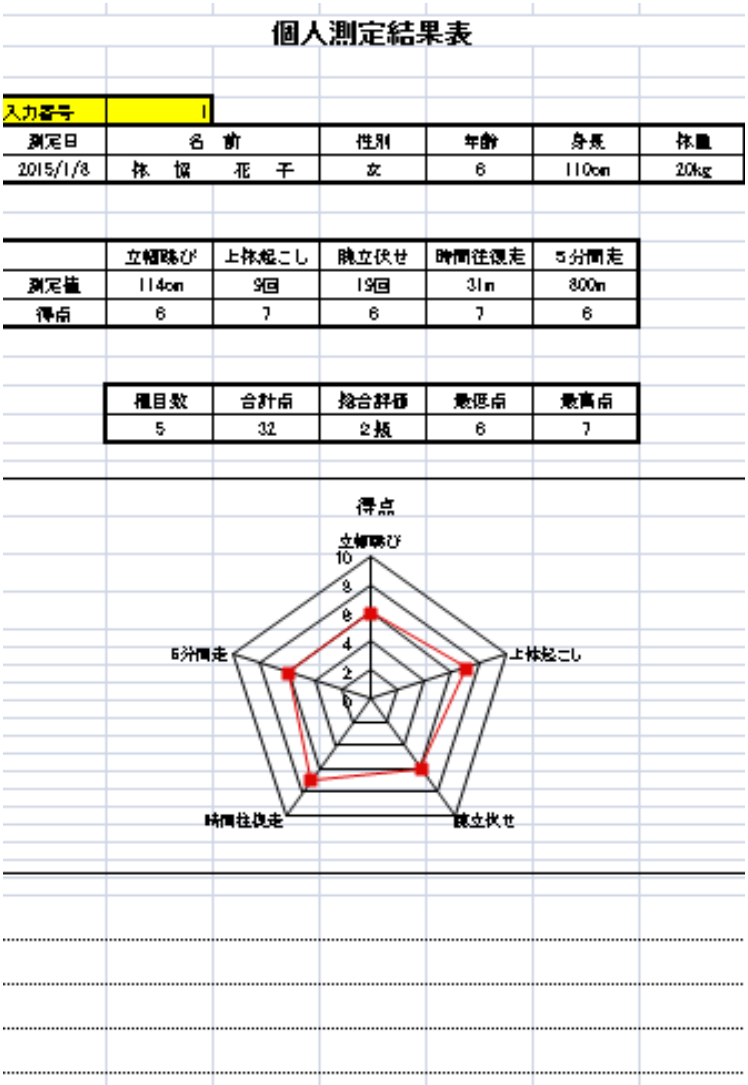
⑤次に、運動適性テスト各種目の測定値を入力してください。「立幅跳び」は cm、「上体起こし」「腕立て伏臥腕屈伸」は回数、「時間往復走」「5 分間走」は m 単位で入力してください。実施していない種目は空欄のままにし、0 は入力しないでください。

⑥測定値を入力すると、右に得点、総合評価が自動的に表示されます。

⑦上記③～⑥の手順で、全員のデータを表に入力してください。

2．結果を出力しよう

①シートを「測定結果」から「個人票」に切り替えてください。
②「入力番号」に数字を入力しますが、ここに入力する数字は「測定結果」シートの記録表の名前に左にある数字です。つまり、1 番目の団員の結果を出力したいのであれば、「入力番号」に 1 を入力し Enter キーを押します。
③すると、表の中に「名前」、「性別」、「年齢」のほかに各種目の測定値と得点が表示されます。さらに、表の下のレーダーチャートには各種目の得点が表示されます。



④1 人分の入力が終了したら、メニューバーの「ファイル」から「印刷レビュー」を選択し、1 枚の用紙の中に印刷範囲が収まっているか確認し、印刷してください。
⑤2 人目以降も上記②～④を繰り返してください。

３．データを保存しましょう

①ファイル名は「“所属の都道府県名”_“〇〇スポーツ少年団”_“実施日”」としてください。実施日が複数にまたがる場合は
「“所属の都道府県名”_“〇〇スポーツ少年団”_“実施日初日”~“最終実施日”」と表記してください。
例）「東京都_体協スポーツ少年団_20150108」
「東京都_体協スポーツ少年団_20150108~20150128」

４．データのフィードバック

①運動適性テストの測定結果を日本スポーツ少年団にフィードバックしてください。お手数をお掛けしますが、次の宛先までお送りください。
②お送りいただいたデータは、統計データとして日本体育協会ホームページ（http://www.japan-sports.or.jp/）や日本スポーツ少年団育成事業報告書に掲載します。

日本スポーツ少年団事務局
E-mail：jjsa@japan-sports.or.jp

件名は「運動適性テスト集計結果」とし、送信してください。
よろしくお願いいたします。